

積算資料 建設資材価格指数

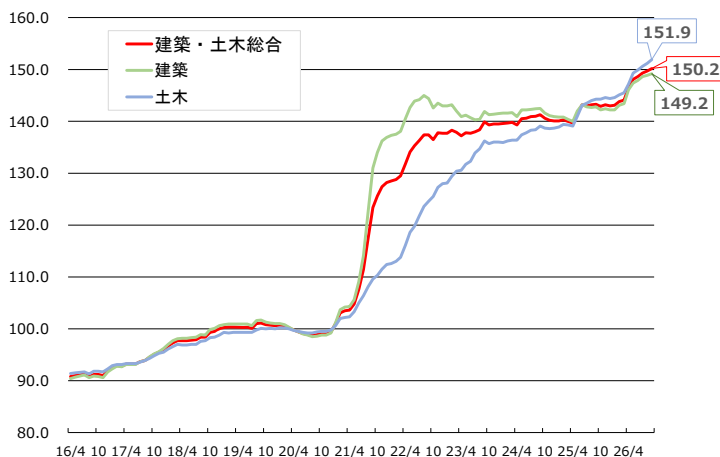


一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総体的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2026年9月調査）

全国・2020年度平均＝100



建築・土木
総合

建築

土木

	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木 総合	150.2	+0.5	+6.9
建築	149.2	+0.3	+6.4
土木	151.9	+0.7	+7.6

指数の詳細な計算結果はこちら

<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木 総合	●生コンクリート：+10.0新潟 ●コンクリート二次製品：+3.3札幌、+0.5名古屋、大阪、高松、+0.2広島 ●骨材：+24.8高松 ●普通鋼鋼材：+1.4東京、+1.2新潟、名古屋、+1.0仙台、+0.9那覇、+0.8高松、+0.7大阪、+0.5広島、+0.2札幌	●普通鋼鋼材：-0.1福岡
建築	●生コンクリート：+9.7新潟 ●コンクリート二次製品：+0.8名古屋、+0.6大阪、+0.4高松、+0.3広島、+0.2札幌 ●骨材：+24.8高松 ●普通鋼鋼材：+1.3仙台、新潟、名古屋、+1.1東京、+0.7那覇、+0.6高松、+0.5大阪、広島、+0.2札幌 ●木材：+3.6那覇	●普通鋼鋼材：-0.2福岡
土木	●生コンクリート：+10.4新潟 ●コンクリート二次製品：+6.6札幌、+0.8高松 ●骨材：+24.7高松 ●普通鋼鋼材：+2.0東京、+1.3大阪、那覇、+1.0名古屋、高松、+0.9新潟、+0.7仙台、+0.5広島、+0.2札幌、+0.1福岡	

指数集計対象資材の市況

9月調査に基づく建設資材価格指数は、建築・土木総合で前月比0.5ポイント上昇の150.2となり、初めて150を超えた。建築、土木両指数も最高値を更新。3指数が揃って最高値を更新するのは6カ月連続で、資材価格の騰勢が長期化していることを示す結果となった。9月も、新潟地区の生コンクリートが販売側の値上げや競合状況の改善によりm3当たり1,000円上伸したほか、多くの資材で今年度当初に販売側が打ち出した値上げが、半年ほどの交渉を経て需要者に浸透している状況が確認されている。足元の市況は総じて強含みで、先行きも販売側主導の展開が続くとみられ、指数も上昇基調で推移する見通し。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部

TEL.03-5777-8212

©2026 一般財団法人 経済調査会